

成長株が上昇を主導

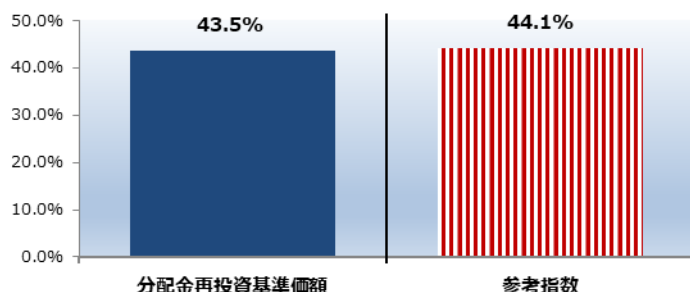
米国連続増配成長株オープン(愛称 女神さま・オープン)
追加型投信／海外／株式

2021年10月1日

平素は「米国連続増配成長株オープン(愛称 女神さま・オープン)」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは、2021年9月27日に、第8期決算を迎えました。本レポートでは、第8期決算の運用報告と、今後の市場見通しについてご報告させていただきます。

パフォーマンスサマリー

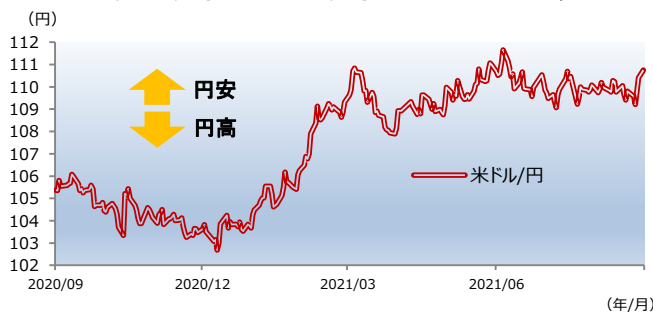
図表1 米国連続増配成長株オープンの分配金再投資基準価額騰落率
(2020年9月28日～2021年9月27日)



参考指数は、S&P500種指数(配当込み、円ベース)です。
※S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。

図表2 為替レート

(2020年9月28日～2021年9月27日、日次、TTMベース)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

業績上方修正が続き株価上昇

第8期の分配金再投資基準価額騰落率は、**+43.5%**となりました。(図表1)

当ファンドのマザーファンドが投資する**ソフトウェア・サービス株**や**医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株**が、好調な業績を背景に上昇したことが、プラスに寄与しました。また、ヘルスケア機器・サービス株の上昇もプラス寄与となりました。一方、食品・飲料・たばこ株や公益事業株の一部が下落し、基準価額にマイナスの影響となりました。また、為替市場については、円は米ドルに対して下落(円安)しました。このため、基準価額にプラスの効果となりました。(図表2)

この結果、当期の分配金再投資基準価額騰落率は、**参考指数の騰落率を小幅に下回りました**。

基準価額推移

上昇基調も、当期末にかけては弱含み

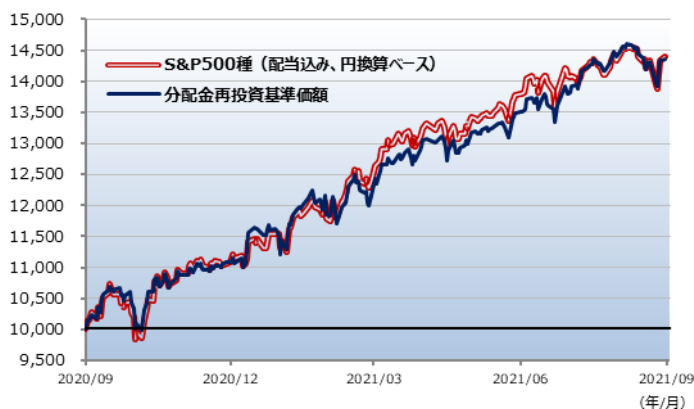
図表3は、第8期の分配金再投資基準価額と参考指数であるS&P500種指数の動きを比較したものです。

作成期の米国株式市場は、米大統領選挙に対する不透明感が重石となった2020年10月や、物価上昇への警戒感が高まった2021年3月や5月に弱含む場面があったものの、いずれも短期の調整にとどまり、その後は上昇しました。当期末にかけては、新型コロナウイルス変異株の感染拡大や、米連邦準備制度理事会(FRB)による量的金融緩和政策の縮小が前倒しされることへの懸念から、売りに押される展開となりました。

当ファンドの分配金再投資基準価額騰落率は、参考指数に出遅れていたものの、**2021年6月以降にソフトウェア・サービス株やメディア・娯楽株など成長株のウェイトを引き上げたことが奏功し**、当期末にかけて参考指数とのパフォーマンス差は縮小しました。

図表3 米国連続増配成長株オープンの分配金再投資基準価額
及びS&P500種指数の推移

(2020年9月28日～2021年9月27日、日次)



(注) 2020年9月28日を10,000として指数化

(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

※S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。

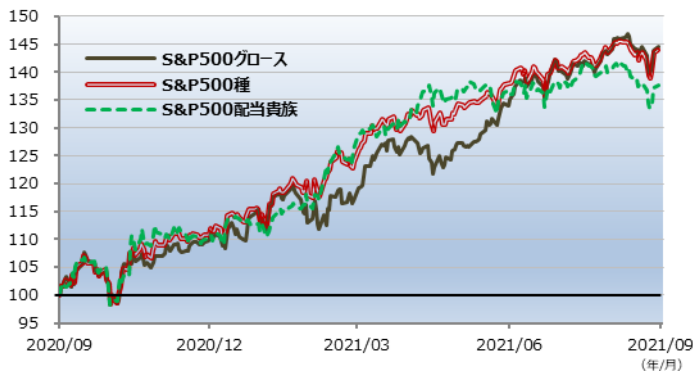
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(愛称 女神さま・オープン)
追加型投信／海外／株式

米国株式市場の動向

図表4 S&P500種とS&P500グロス、S&P500配当貴族指数の推移
(2020年9月28日～2021年9月27日、日次、配当込み、円ベース)

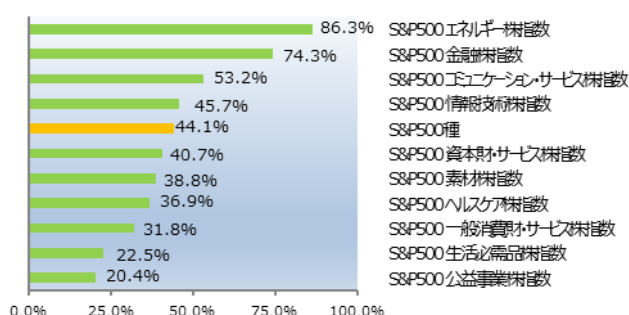


(注) 2020年9月28日を100として指数化

(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

※S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。

図表5 S&P500種指数のセクター別株価指数の株価推移
(2020年9月28日～2021年9月27日、日次、円ベース)



※ ファンドで保有がない不動産セクターは除く

(注) セクターはGICS (世界産業分類基準) ベース

(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

成長株優位の相場展開

図表4は、第8期におけるS&P500種指数と、同指数の採用銘柄の内、成長株で構成したS&P500グロス指数、25年以上連続して増配している銘柄で構成したS&P500配当貴族指数の推移を示したものです。

2021年2月から6月上旬にかけて、物価上昇への懸念からテクノロジーセクターを中心とした成長株が冴えない動きとなった一方、金融セクターや素材セクターといった割安株は堅調に推移しました。このため、相対的に割安株の比率が高いS&P500配当貴族指数は、S&P500種指数やS&P500グロス指数をアウトパフォームしました。しかし、6月中旬から当期末にかけては、業績が好調な成長株が優位な展開となり、S&P500グロス指数が他の指数をアウトパフォームしました。

図表5は、S&P500種指数のセクター別株価指数のパフォーマンスを示したものです。エネルギーセクターや金融セクターなどの景気敏感株の上昇率が上位となりました。また、予想を上回る業績が多くの企業から発表されたコミュニケーション・サービスセクターや情報技術セクターなどの成長株もS&P500種指数をアウトパフォームしました。一方、公益事業セクターや生活必需品セクターなどのディフェンシブ株の上昇率は、S&P500種指数を下回りました。

投資行動

図表6 組入上位業種の推移

第7期決算末 組入上位		
	産業グループ	比率
1	ソフトウェア・サービス	12.2%
2	各種金融	10.8%
3	ヘルスケア機器・サービス	10.1%
4	資本財	9.5%
5	小売	5.7%



第8期決算末 組入上位		
	産業グループ	比率
1	ソフトウェア・サービス	15.1%
2	ヘルスケア機器・サービス	10.7%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.1%
4	資本財	7.9%
5	各種金融	7.2%

※ 産業グループはGICS (世界産業分類基準) ベース

※ 図表6の比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

安定した成長が期待されるソフトウェア・サービス株や、革新的な技術を有するヘルスケア機器・サービス株を上位にウェイト付けしました。また、強固な事業基盤と健全な財務体質により、連続増配が可能と判断される資本財株や各種金融株のウェイトも上位を維持しました。

期中の投資行動としては、**医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株の買付け**を行いました。また、業績の上方修正が期待できると判断した**ソフトウェア・サービス株やメディア・娯楽株**を買い増しました。一方、**資本財株及び各種金融株の一部を売却**しました。(図表6)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(愛称 女神さま・オープン)
追加型投信／海外／株式

個別銘柄寄与上位・下位
図表7 基準価額への寄与上位下位銘柄

第8期 寄与上位銘柄				第8期 寄与下位銘柄			
	銘柄名	産業グループ	連続増配 ／成長		銘柄名	産業グループ	連続増配 ／成長
1	S V Bファイナンシャル・グループ	銀行	成長	1	アカマイ・テクノロジー	ソフトウェア・サービス	成長
2	アルファベット	メディア・娯楽	成長	2	ユニオン・パシフィック	運輸	連続増配
3	ガートナー	ソフトウェア・サービス	成長	3	エア・プロダクツ・アンド・ケミカルズ	素材	連続増配
4	マステック	資本財	成長	4	キンバリー・クラーク	家庭用品・パーソナルケア	連続増配
5	アライン・テクノロジー	ヘルスケア機器サービス	成長	5	エバジー	公益事業	連続増配

※ 産業グループはGICS（世界産業分類基準）ベース
 ※ Bloombergポートフォリオ分析データより岡三アセットマネジメント作成
 ※ 国・地域は発行国で表示しています。

図表7は、基準価額騰落率に対する寄与度上位銘柄と下位銘柄です。成長株を中心に、業績の上方修正を発表した銘柄がプラスに寄与しました。米シリコンバレーで事業を展開する銀行の**S V Bファイナンシャル・グループ**や、インターネット・サービスの**アルファベット**、ソフトウェア・サービスの**ガートナー**などが寄与度の上位となりました。また、インフラ建設会社の**マステック**や、歯科矯正器具の**アライン・テクノロジー**などもプラスに寄与しました。

一方、業績が市場予想に届かなかったソフトウェア・サービスの**アカマイ・テクノロジー**や、原材料価格や人件費の上昇が懸念された鉄道の**ユニオン・パシフィック**、及び産業ガスの**エア・プロダクツ・アンド・ケミカルズ**などがマイナスに影響しました。また、コロナ禍におけるティッシュペーパーなど衛生用品の特需が一巡した家庭用品の**キンバリー・クラーク**の保有もマイナスに影響しました。

今後の市場見通しと投資戦略
短期的には上値の重い展開、その後は上昇へ

今後の米国株式市場は、短期的には上値の重い展開が予想されます。2021年前半は大幅増益となった企業業績ですが、**原材料や人件費の上昇、サプライチェーンの混乱**などから、上方修正のトレンドに頭打ち感が出ています。また、年内にFRBによる**量的金融緩和政策の縮小が開始**される見通しであり、利益確定の売りが出やすい相場展開が予想されます。

一方、**バイデン政権による子育て・教育支援、気候変動対策や、インフラ投資計画に対する予算案**が可決されれば、株式市場にとって好材料になるものと予想されます。

また、**年末から2022年にかけて、複数の新型コロナウイルス治療薬の処方**が開始されることから、経済活動に対する制限が緩和され、成長が加速すると考えられます。以上の点から、**株式市場は今後も底堅い展開が続くものと予想**されます。

今後の運用につきましては、情報技術株や、ヘルスケア株を上位にウェイト付けする方針です。また、経済活動再開やインフラ投資拡大の恩恵を受けると考えられる資本財・サービス株や、一般消費財・サービス株の買付けを検討します。（図表8）

図表8 セクター別構成比
(2021年9月27日)

第8期決算末 組入上位		
	セクター	比率
1	情報技術	25.4%
2	ヘルスケア	19.8%
3	金融	13.4%
4	資本財・サービス	10.2%
5	一般消費財・サービス	9.7%
6	生活必需品	7.5%
7	公益事業	5.5%
8	コミュニケーション・サービス	3.9%
9	素材	1.7%
10	エネルギー	1.0%

※セクターはGICS（世界産業分類基準）ベース
 ※図表8の比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

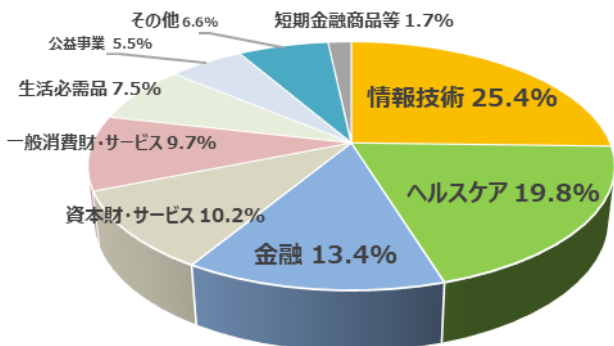
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

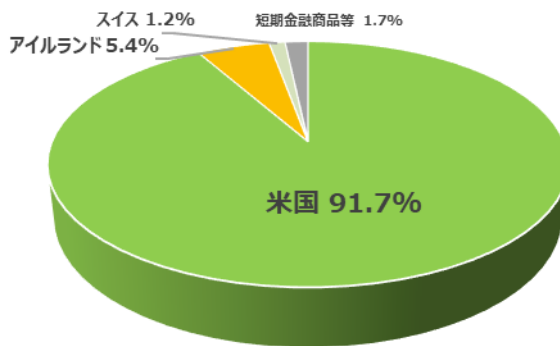
米国連続増配成長株オープン(愛称 女神さま・オープン)
追加型投信／海外／株式

業種・地域別構成比と上位保有銘柄

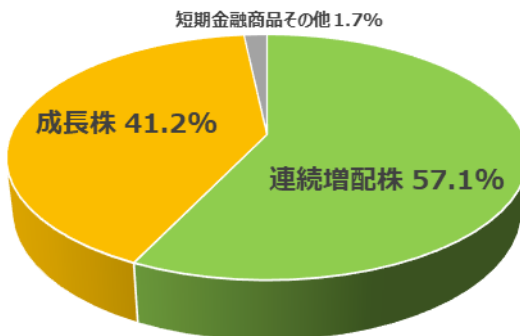
図表9 セクター別構成比 (2021年9月27日、円ベース)



図表10 地域別構成比 (2021年9月27日、円ベース)



図表11 連続増配株&成長株別構成比 (2021年9月27日、円ベース)



図表12 組入上位銘柄 (2021年9月27日、円ベース)

第8期決算期末 組入上位10銘柄					
	銘柄名	産業グループ	連続増配／成長	国・地域	比率
1	アルファベット	メディア・娯楽	成長	米国	3.1%
2	ガートナー	ソフトウェア・サービス	成長	米国	2.4%
3	インテュイト	ソフトウェア・サービス	連続増配	米国	2.1%
4	プロクター・アンド・ギャンブル (P & G)	家庭用品・パーソナル用品	連続増配	米国	2.0%
5	ターゲット	小売	連続増配	米国	2.0%
6	S & P グローバル	各種金融	連続増配	米国	1.9%
7	ダナハー	ヘルスケア機器・サービス	成長	米国	1.9%
8	アクセンチュア	ソフトウェア・サービス	連続増配	アイルランド	1.9%
9	アメリカン・ファイナンシャル・グループ	保険	連続増配	米国	1.8%
10	ドーバー	資本財	連続増配	米国	1.8%

※図表9～12の比率は、米国連続増配成長株オープンマザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

※セクター・産業グループはGICS (世界産業分類基準) ベース

※国・地域は発行国で表示しています。

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(愛称 女神さま・オープン)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2021年9月27日)



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※分配金再投資基準価額は、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)

が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ	
基準価額 (円)	20,083
残存元本 (口)	4,951,090,448
純資産総額 (円)	9,943,423,225
実質株式組入比率 (%)	94.0
短期金融商品その他 (%)	6.0
組入銘柄数	80

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

決算期	分配金 (円)
第3期 (2016年09月26日)	0
第4期 (2017年09月26日)	750
第5期 (2018年09月26日)	750
第6期 (2019年09月26日)	150
第7期 (2020年09月28日)	400
第8期 (2021年09月27日)	1,000

設定来累計 分配金	4,850
-----------	-------

当ファンドは2021年9月27日に決算を迎え、第8期の分配につきましては、1万口当たり1,000円(税引前)とさせていただきます。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン（愛称 女神さま・オープン）
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.595%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社（１）

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
アイザワ証券株式会社	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
エイチ・エス証券株式会社	関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
共和証券株式会社	関東財務局長(金商)第64号	○	○		
極東証券株式会社	関東財務局長(金商)第65号	○			○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
JPアセット証券株式会社	関東財務局長(金商)第2410号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
南都まほろば証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○	○		
北洋証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
丸國証券株式会社	関東財務局長(金商)第166号	○			
三木証券株式会社	関東財務局長(金商)第172号	○			
三田証券株式会社	関東財務局長(金商)第175号	○			
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
豊証券株式会社	東海財務局長(金商)第21号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

販売会社（2）

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(登録金融機関)					
大阪信用金庫	近畿財務局長(登金)第45号				
株式会社沖縄海邦銀行	沖縄総合事務局長(登金)第3号	○			
株式会社関西みらい銀行	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社西京銀行	中国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社埼玉りそな銀行	関東財務局長(登金)第593号	○		○	
株式会社佐賀共栄銀行	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
株式会社三十三銀行	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社島根銀行	中国財務局長(登金)第8号	○			
城北信用金庫	関東財務局長(登金)第147号	○			
株式会社徳島大正銀行	四国財務局長(登金)第10号	○			
株式会社トマト銀行	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山銀行	北陸財務局長(登金)第1号	○			
株式会社富山第一銀行	北陸財務局長(登金)第7号	○			
長岡信用金庫	関東財務局長(登金)第248号				
播州信用金庫	近畿財務局長(登金)第76号	○			
兵庫信用金庫	近畿財務局長(登金)第81号	○			
株式会社福岡中央銀行	福岡財務支局長(登金)第14号	○			
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	○			
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社豊和銀行	九州財務局長(登金)第7号	○			
株式会社北洋銀行	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
米沢信用金庫	東北財務局長(登金)第56号				
株式会社りそな銀行	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）